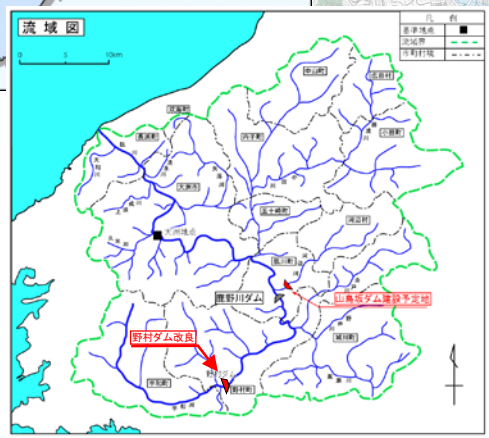
肱川水系流域治水対策プロジェクト【素案】

～つなごう肱川プロジェクト（平成30年7月豪雨災害の再度災害防止対策）～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、肱川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施することで、戦後最大の平成30年7月洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



凡例
- 実績浸水範囲（平成30年7月洪水）
- 大臣管理区間

■河川における対策（国）

国の対策内容　堤防整備、堤防嵩上げ、河道掘削、橋梁改築撤去、堤防強化、内水対策、山鳥坂ダム建設　等

※今後、関係機関と連携し、県管理区間の河川改修を追加予定

■流域における対策のイメージ

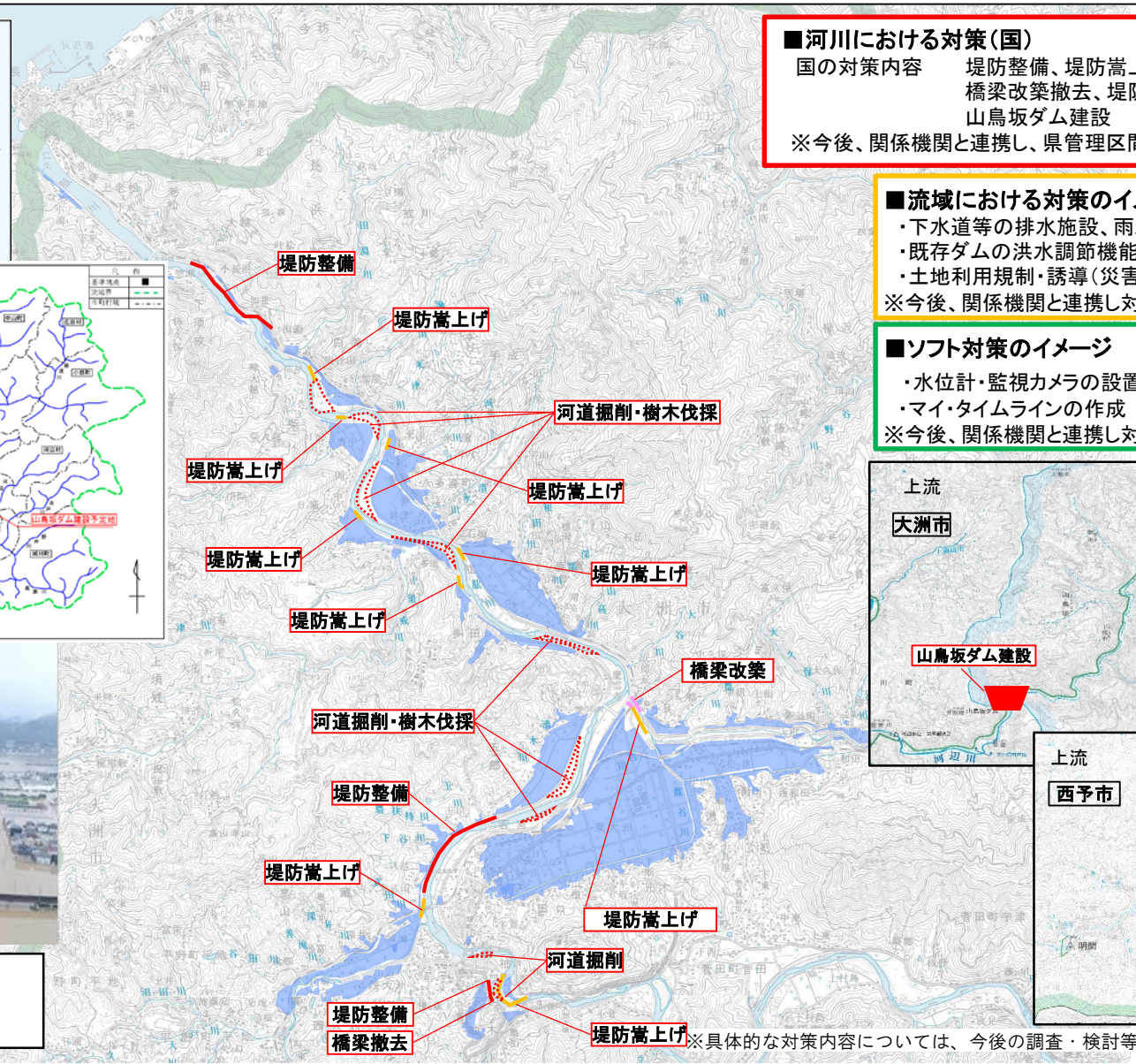
・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
・既存ダムの洪水調節機能の強化
・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）　等

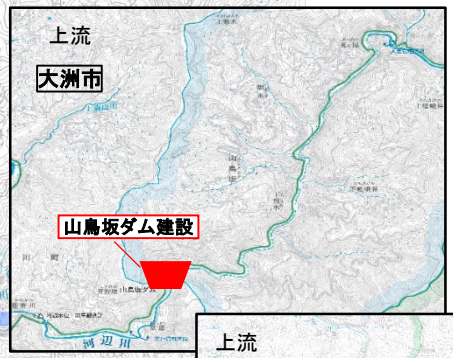
※今後、関係機関と連携し対策検討

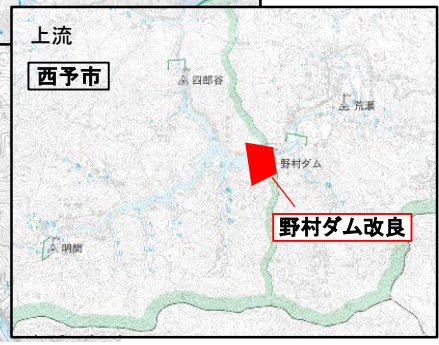
■ソフト対策のイメージ

・水位計・監視カメラの設置
・マイ・タイムラインの作成　等

※今後、関係機関と連携し対策検討







※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。